

NOSAI

2026 新年号
vol.20
ひょうご



特集

第25回「農」絵画コンクール
うまいく一年へ！新年の抱負

表紙紹介

「宍粟市を花の産地に」



八ボタンの葉かきをする前田さん一家。左から敬太さん、父の高春さん(69)、母のゆみさん(66)

「自分で種から育てたものを商品化できるところがうれしい」と話すのは、宍粟市で花き48坪と水稲45坪を栽培する前田敬太さん(31)。県立農業大学校を卒業後、JAに就職し農業に関わる中で、楽しそうに働く農家の姿を見て自分でもやってみたくて3年前に就農しました。実家が農業を営んでいたこともあり、当初は野菜栽培を考えていたものの「違うことに挑戦したい」と花き栽培を選択。「花は野菜や米と育て方が似ていても、成長の仕方が異なる点が面白かった」と振り返ります。現在はリンドウを中心に、花壇苗やハボタンなどの寄せ植えを販売。技術は独学で習得し、試作を重ねながら磨いてきました。「最初は売れるか不安だったが、『買ってよかった』と言ってもらえるのがやりがい」と笑顔を見せます。

「宍粟市は花き農家が少ないので、地域の先駆者となってこれから花を育てたい人のサポートができれば。宍粟を花の産地にすることが目標です」と意欲的に語ります。

宍粟市
K.farm代表
前田敬太さん

共済掛金は口座振替が便利です

引受の適正化およびコンプライアンス(法令遵守)の観点から、共済掛金等の納入は便利な口座振替をお勧めしています。既に口座振替をしている方でも名義変更など口座情報に変更があった場合は、改めて手続きが必要です。

お問い合わせは
お近くのNOSAI事務所まで

事務所

神戸	戸	078-220-0044
大阪	神	079-550-0027
東播	磨	079-424-1390
西脇	多可	0795-21-9002
三木	加東	0794-68-9085
小野	加東	0794-62-3433
加西	西	0790-21-9058
中播	播	079-232-4401
赤相	相	0791-45-1101
たつの	太子	0791-63-4800
宍粟	粟	0790-60-3004
佐用	用	0790-60-3002
豊岡	岡	0796-42-4133
南但	但	079-665-0215
香美	新温泉	0796-92-2410
丹波	篠山	079-550-9010
丹波	波	0795-74-1474
洲本	淡路	0799-28-1653
南あわじ	あわじ	0799-42-6210

家畜診療所

阪神	神	078-991-4531
東播	播	0794-63-2211
西播	播	0791-63-0286
但馬	馬	0796-42-4135
丹波	波	0795-72-0244
洲本	淡路	0799-28-1650
南あわじ	あわじ	0799-42-1037

お互いへのメッセージ

両親 これからも体に気を付けて頑張って。
敬太さん いつも支えてくれてありがとう。これからも元気に農業を続けていきましょう。

おわびと訂正

2025秋号Vol.19の12ページ「家畜診療だより」におきまして、森井正伸さまの経営規模に誤りがありました。以下の通り、訂正させていただきます。森井さまにはご迷惑をおかけしましたこと、深くおわび申し上げます。

【誤】母牛40頭を飼育 ▶ 【正】母牛約100頭を飼育



洲本市立洲本第三小学校
森崎建稀さん
「あわじしまのたまねぎ」

第25回「農」絵画コンクール入賞作品
風景画の部 金賞

青色申告、始めませんか



農業経営の発展を図るためには、自らの経営を把握しリスクに備えることが重要です。
メリットの多い青色申告を始めて収入保険に加入しましょう。

Q どの様なメリットがあるの？

- 最高で**65万円の特別控除**が受けられます(簡易方式では10万円)
- 損失額(赤字)の**繰り越しや繰り戻し**ができます
- 家族従業員の給与額を**必要経費に算入**できます

Q どうやって始めるの？

令和8年から青色申告を始めると令和9年契約の収入保険に加入できます

3月15日までに税務署に「青色申告承認申請書」を提出する必要があります

国税庁「はじめてみませんか？ 青色申告」はこちらから

大 ← 節税効果 → 小

青色申告			白色申告
あり			なし
65万円	55万円	10万円	なし
正規の複式簿記 <small>※e-Taxによる電子申告または電子帳簿保存</small>	正規の複式簿記	簡易簿記	簡易簿記
貸借対照表・損益計算書 全て記入			収支内訳書
特別控除 あり			なし
届出の必要			なし
特別控除			なし
記帳義務			なし
決算書の作成			なし
一部未記入可			なし
専従者			なし
配偶者は86万円まで、それ以外は50万円まで			なし
赤字処理			なし



収入保険と私

はやし のりゆき
林 則幸さん(77)
南あわじ市

収入保険に加入していることで、自然災害や獣害などによる収入減少に備えられる点が良かったと思っています。今後は、菊の品質維持、労務管理、市場や薬剤の価格高騰などと向き合いながら生産を安定させ、注文に対応していきたいです。



ハウス内の様子。「正確な温度管理が色彩の良い大輪の花になります」と話す林さん。



鮮やかな色のレッドダイヤモンド。



出荷準備中の大輪の菊。

さまざまな災害に備えられる安心感

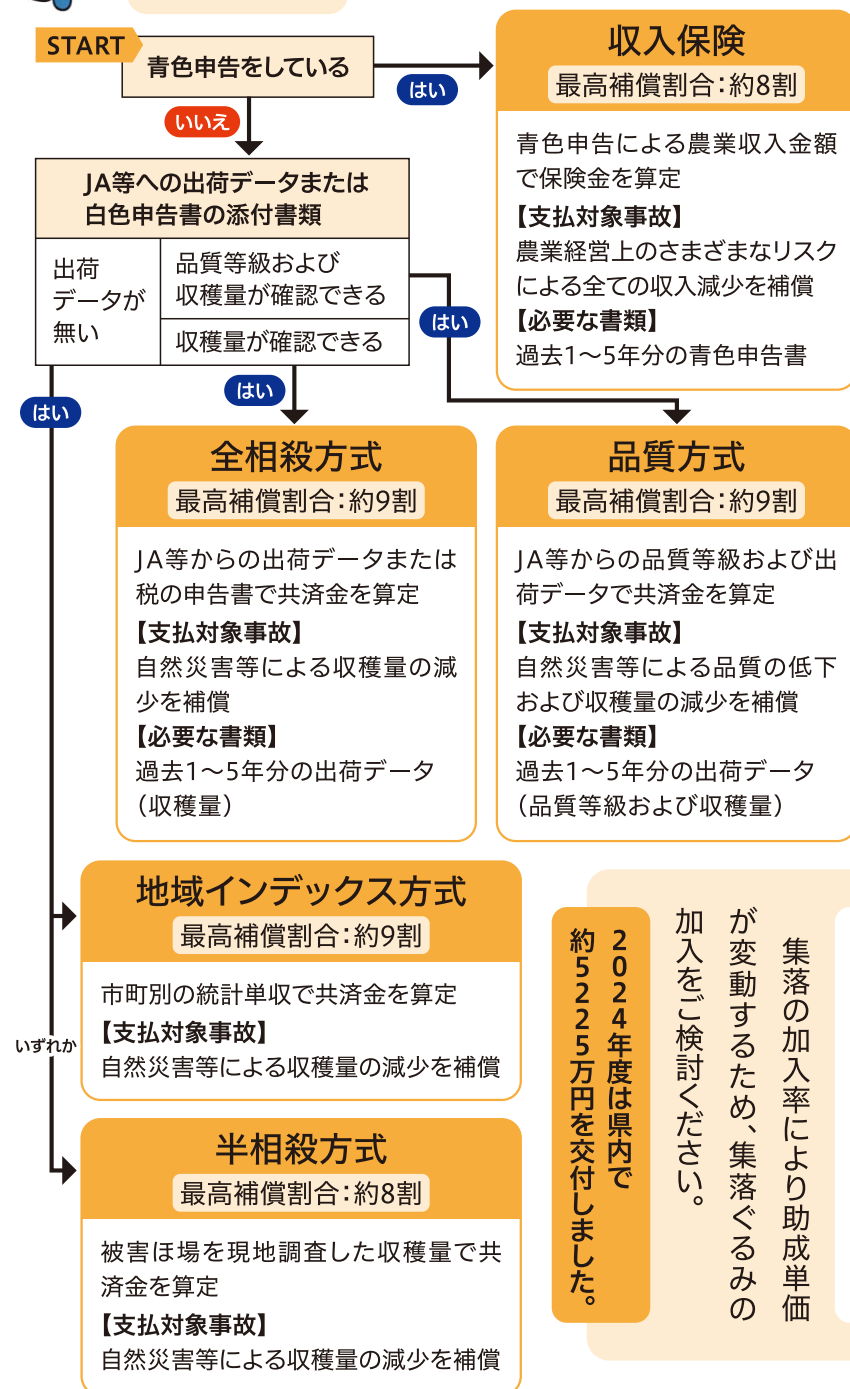
南あわじ市で菊を20㍍栽培しています。菊も補償の対象となる収入保険の存在を知り、加入しました。

栽培する「レッドダイヤモンド」は、鮮やかな赤色と丈夫で花持ちの良さが特徴の品種で、仏花や装飾花として高い需要があります。肥料は、この土地に合った専用配合のものを使用しています。また、ハウスの正確な温度管理、側枝やつぼみを丁寧に取り除く芽摘み作業を徹底し、より色彩の良い大輪を咲かせられるよう工夫しています。その他に、カビや病害虫対策、大雨被害を防ぐ排水対策、鹿による獣害対策など、品質と収量の維持のためにさまざまな対策をしています。菊の栽培は手作業が非常に多く、高い技術力と労力が必要だと感じています。



フローチャートで自分に合った加入方式を見つけよう！

水稲共済 補償方式選択チャート



近年多発する災害に備えて、補償方式選択チャートを参考に、自分に合った補償をご検討ください。
2024年度の水稲共済支払金は約4203万円となりました。
加入の際には、「一筆半損特約」の付加をお勧めします。



昨年度被害率1位 獣害

▲イノシシが侵入し食害や倒伏被害を受けたほ場

経営形態に合った共済プラン選びを

集落ぐるみの加入がお勧め
損害防止事業

NOSAIひょうごでは、水稲共済または収入保険に加入している農業者が属する集落等を対象に、加入率に応じた水稲損害防止助成金を交付しています。

- 助成対象となる作業経費
- 病害虫防除のためのあぜ道等の除草作業
- 獣害防護柵の点検整備
- 共同防除

集落の加入率により助成単価が変動するため、集落ぐるみの加入をご検討ください。

2024年度は県内で約5225万円を交付しました。

加入者の声

被害が起きてもめげずに



農事組合法人小柿営農
こたによしのり
小谷良徳さん(73)
三田市

「コシヒカリ」や「ヤマフクモチ」、ソバなどを30畝栽培しています。また、直売所「えのゝこがき」の運営や、就労支援事業の一環として農業体験を実施するなど、農福連携にも力を入れています。

2025年は、例年にはない高温障害による被害が発生しました。ここまでの影響は予想しておらず、かなりの打撃となりました。水稲共済には組合設立当初から加入しており、幸いこれまで大きな被害はありませんでしたが、今回の経験を機に備えの重要性を再認識しました。これからも、生育状況には十分に気を配りつつ、今回の被害にめげず、おいしい米を作っていきたいです。

集落所有の建物・農機具の加入について

よくある質問

- Q** 集落で所有している建物や農機具の加入はできますか。
- A** はい、可能です。ただし、法人格を有しない自治会で維持・管理している集会所や、集落営農の農機具は、組合員資格のある代表者名での加入となります。

ポイント

加入申込書における加入者名義の記載方法(例)

- 法人格を有する場合
山手農事組合法人 代表 山田太郎
- 法人格を有しない場合
山田太郎(山手営農組合代表)



農林水産省からのお知らせ

シートベルト着用義務化

道路運送車両の保安基準改正により、乗用型トラクタで道路を走行する際には、シートベルト着用が義務化されます。

- 義務化はいつから?**
令和9年1月1日 からです。
- どのトラクタが対象?**
令和9年1月1日以降に製造された座席を有するトラクタは、大型特殊自動車・小型特殊自動車に限らず対象車となります。
- 違反した場合は?**
シートベルトの着用義務違反として、点数1点が付されます。



第58回兵庫県NOSAI大会

「より身近に、より丁寧に、農家のもとへ」
を行動のスローガンに目標達成を!



事業報告を行う河野光裕参事

第58回兵庫県NOSAI大会が11月11日に、シーサイドホテル舞子ビラ神戸（神戸市垂水区）で開催されました。県内のNOSAI関係者約130人が参加し、農業保険事業に功績のあった方の表彰や講演が行われ、全国農業共済協会長や兵庫県農林水産部の守本真一郎長からもご祝辞を頂きました。

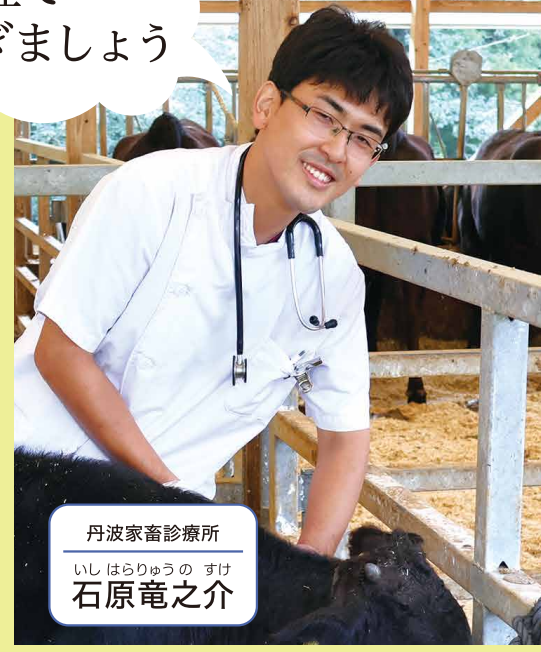
大会では、本県の食料・農業・農村の持続的発展に寄与するため、地域に根差した事業展開を図り、「備えあれば憂いなし」の農業生産体制を構築することを目指し、収入保険と農業共済を総合的に推進し、各事業の目標達成に全力で取り組むことなどが決議されました。

家畜診療だより

ワクチン接種で
子牛の肺炎を防ぎましょう



肺炎の原因には主に細菌とウイルスが関与しています。細菌感染と違って、ウイルスによる肺炎には抗生剤は効果がなく、子牛の免疫力向上で治すしかありません。そのため、肺炎を予防することが大切です。予防方法の一つとして、ワクチン接種があります。ワクチンを投与することで肺炎の発生率を低下させ、重症化を防ぐことができます。また、細菌に対してでも感染率と重症化率を低下させ、抗生剤の投



丹波家畜診療所
いしはらりゅうのすけ
石原竜之介



丹波農商で、大塩敦史さんと

肺炎対策には、ワクチンを投与してみるのはいかがでしょうか。また、投与時期についてもぜひご相談ください。

肺炎対策には、ワクチンを投与してみるのはいかがでしょうか。また、投与時期についてもぜひご相談ください。

与回数を減らすことができます。ワクチンの投与時期も重要です。子牛は、親牛の初乳を飲むことで移行抗体を獲得し、免疫機能を高められます。移行抗体は、生後1カ月齢から6カ月齢ごろまでに消失します。移行抗体が少なくなると時期に肺炎になってしまう可能性があります。肺炎の発生が増える前にワクチンを打つことが効果的です。子牛の抗体検査や肺炎の発生状況を考慮して、ワクチンの投与時期を決めると良いと思います。さらに、飼育環境の改善も行くと、ワクチンの効果がより期待できます。

肺炎対策を強化



株丹波農商 代表
おしおあつし
大塩敦史さん(30)
丹波市(母牛60頭を飼育)

兄の勧めがきっかけで、2019年に就農し、繁殖経営を始めました。日頃から、牛舎内をきれいに保つことや病気の早期発見・治療を心がけています。

子牛の肺炎を予防するため、定期的なワクチン接種を行っています。2024年12月にはマイコプラズマが多発し、25年には対策強化のため採血と抗体検査を行い、ワクチンプログラムを見直しました。ワクチン接種すると治療が早く、下痢による死亡も減少したことで効果を実感しています。

今後は母牛を70頭まで増頭し、事故を減らして全頭出荷を目指したいと思っています。これからも肥育農家に喜ばれる牛づくりに励んでいきたいです。

ガンバレ!!
農家を
応援し隊

なが さわ えい ぞう
enFARM 長澤栄三さん(52) 稲美町

第7回
長澤さんの章姫
兵庫県を6つに分け、
産地へ突撃取材!

今回は  **東播磨**



会社員を辞め、就農して2026年で7年目になります。これからは章姫のポテンシャルを追求し、おいしいイチゴを作っていきたいです

今回は、稲美町でイチゴ「章姫」をハウス栽培している長澤栄三さんにお話を伺いました。

Q | 章姫の特徴は?

一目で買いたくなるようなつやつやの大粒イチゴで、糖度が高いのが特徴です。花がたくさんつく章姫は、一般的にはある程度花数を抑えて栽培しますが、より花を少なくして栽培することにより、1つの果実に糖度や栄養がより行き渡るようにしています。

に出荷することにより、元気でつやのあるおいしいイチゴを直売所にすることができます。

Q | 栽培での苦労ややりがいは?

炭疽病以外は大体経験するなど、毎年いろいろな試練に見舞われており、それも勉強だと思っています。そんな中でも、買ってくれた方が「おいしい!」と言ってくれた時や売れ残りがなかった時にやりがいを感じます。



大粒でつややか、ジューシーなのにあっさりとした甘さの章姫(長澤さん提供写真)

Q | こだわりや工夫はありますか?

章姫は手間をかければかけるほどおいしくなる、栽培しがいのある品種。タイミングよく肥料を入れ、温度管理などを徹底的にする必要がありますが、一つのことを集中して行うことは自分に合っていると思います。また、鮮度に気を付けていて、糖度が最も高まる日の出の直前に収穫することを心がけています。収穫当日

Q | ずばり、今後の夢や目標は?

もう一人くらい仲間が欲しいと思っていますが、今は栽培技術をもっと磨きたいです。また、人とは違う栽培方法で自分のイチゴの特徴を伸ばしていきたい、「毎日食べたい」「定期的に食べたい」としてもらえるような商品を目指します。



13㍻で栽培。「鮮度と甘さに特に気を使っています」

Q | 農業従事者に一言!

これから農業の時代が来るので、皆さん一緒に頑張りましょう!!

販売先

 にじいろふぁ～みん(稲美町)、道の駅みき直売所(三木市)

Facebookはこちら 

イチゴに対する愛情や熱い思いを取材させていただくことができ、一粒ができるまでの時間を想像して胸が温くなりました。進化し続ける長澤さんの愛情がたくさんこもったイチゴが今シーズンも楽しみです。

東播磨事務所 泉




フレッシュひょうご便

ふじもとゆう か
株式会社アグリ藤本 藤本佑華さん(27) 佐用町



(株)アグリ藤本は、私と父と弟の家族3人で経営する農業法人です。水稻の他に、佐用町の特産品である「佐用もち大豆」を作っています。佐用町独特の気候を生かした「もちもち」とした食感が魅力です。SNSでおいしかったと書かれた投稿を見つけるたび、「これ、私が育てた大豆かも!」とニヤッとすることもしばしば。家族経営だからこそその強みを武器に頑張っています。



株式会社アグリ藤本の詳しい情報は  こちらから

NOSAI **ピックアップ**
農業共済新聞12月2週号
トップ掲載記事を紹介

**安全安心な国産シイタケを
広めたい**

多可町八千代区で年間2,000菌床の純国産シイタケを栽培する門脇マリアさん(43)。地域のシイタケのおいしさを広めたいと日々取り組んでいます。


5年前に就農を決意し、祖父の織物工場跡を改修してシイタケ栽培を開始。菌床には国産木材のみを使用し、肥料や農薬に頼らず栽培しており、購入者からも好評だといいます。

「温度や水分の管理など難しさもあるが、売りでもある大きなかさやおいしさを喜んでいただくとすごくうれしくなります」と笑顔を見せます。地元直売所や道の駅、オンライン販売に加え、ふるさ



培養完了後の発生したシイタケの状態を確認する門脇さん。

と納税返礼品にも出品し販路拡大に努める門脇さん。「日頃からお世話になっている近隣の農家の皆さんに感謝し、今後は菌床を4,000に倍増し挑戦を続けたい」と意気込んでいます。

詳しい情報は  こちらから

**農業共済新聞 2カ月無料試し読み
キャンペーン実施中!**
お申し込みはお近くの事務所または
組合ホームページまで。